

信頼と専門性で、地域の未来を支えます。

理事メンバー



松本 瑞夫 組織開発コーチ
高橋 里依 ファイナンスプランナー
中澤 友紀 正看護師
宮崎 徳仁 産業保健コンサルタント
松下 奈楠 商立支援コーチ

提携パートナー（抜粋）

- 助成金・補助金
- 医療・福祉
- 司法書士
- 不動産売却
- 行政書士
- 税理士



メディア出演・書籍監修



- NHK「午後LIVE ニュースーン」
- 読売テレビ「かんさい情報ネット ten.」



Ikigai けあともチャンネル
生きがい・働きがい・介護を
テーマに動画を配信しています。



組織づくりのための対話の知見を
社会へ発信しています。

プレスリリース



非営利団体サポートプロジェクト
認定団体として、社会課題解決に
向けて配信を続けています。

お問い合わせ



つながり歓迎



<https://keatomo.jp/>



info@keatomo.jp



つながる交流会 開催情報

<https://keatomo.jp/tsunagaru-koryu-kai>



けあともとは

私たちは、介護離職の防止に向けて、
企業・医療・介護・福祉・行政をつなぎ、
誰もが安心して働き続けられる
社会の実現を目指す一般社団法人です。

私たちの主な取り組み



つながる交流会

多職種・多機関が出会い、学び合い
つながり合える場を継続的に開催



相談・情報提供

個別相談や情報提供で不安を軽減し
適切な支援に結びつけています



専門家ネットワーク

医療・介護・福祉・労務・法律・保険など
専門家が連携してサポート



企業・職場支援

組織づくりや研修、職場の理解促進など
企業の取り組みを支援



地域・行政連携

行政や地域団体と連携、地域課題の
解決に向けた仕組みづくりを推進



情報発信・普及

プレスリリース・LinkedIn・セミナー・書籍
などを通じ、社会へ向けて情報を発信



一般社団法人
けあとも

人がつながる。 地域が支え合う。

企業・医療・介護・福祉・行政・地域をつなぐ
介護離職防止の地域連携モデルを実施しています



なぜ、今「けあとともに」が必要なのか

介護は、ある日突然、誰にでも起こりうることです。
仕事と介護の両立に悩み、誰にも相談できず、
孤立してしまう人が増えています。

深刻な現状



介護離職者は年間約 10 万人

経済損失は約6,500億円ともいわれ、
企業にとっても大きな損失となっています。※



相談しづらく、孤立しがち

制度やサービスが複雑で分かりにくく、
「どこに相談すれば良いか分からない」人が多数います。



ダブルケア・ヤングケアラーの増加

育児や介護を同時に担う家庭、若年層のケア負担も
社会の大きな課題となっています。



企業だけでは解決が難しい課題

介護は個人・家庭だけでなく、医療・介護・福祉・行政
地域が連携して支えることが不可欠です。

誰もが安心して働き続けられる社会のために、
介護を受け入れ、向き合い、支え合う必要があります。



けあとともに は、つながりと対話から
課題解決を生み出します。

地域全体で支える仕組み

多様な主体が連携・循環し、介護離職の防止と、
働きやすい社会を実現する地域連携モデルです。



「ケア」と共に。

一人で抱え込まない社会へ。

地域のつながりが、未来を変えます。



地域連携から生まれた成果

つながりが広がり、地域と企業、
社会全体に価値を生み出しています。

01 多職種・多機関の出会いと学び

交流会を通じて、顔の見える関係が広がり
継続的な連携が生まれています。

02 専門家による支援の提供

相談や専門家紹介により、介護・制度
法律などの不安が軽減されています。

03 企業の理解と取り組み促進

研修や相談支援により、職場の理解が深まり
働きやすい環境づくりが進んでいます。

04 行政・地域との連携強化

行政や地域団体と協働し、地域課題の解決や
新たな仕組みづくりを進めています。

05 情報発信・普及の拡大

NHKや新聞、PR TIMESなどのメディア掲載を
通じて、社会への理解と関心が広がっています。

06 つながりの輪が地域に広がる

個人・企業・地域がつながり、支え合う文化が
地域全体に広がっています。

